

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D20A-8E0	D20P-8E0	D20PL-8E0	D20PLL-8E0		
		仕様		2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト		
		適用号機		90001	90001	70001	70001		
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2645±50 930±25 — (69～72) (45～55)	2645±50 930±25 — (69～72) (45～55)	2645±50 930±25 — (69～72) (45～55)	2645±50 930±25 — (69～72) (45～55)		
		エンジン油圧 (油 温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	294～392 3～4 (80～110) (2580)	294～392 3～4 (80～110) (2580)	294～392 3～4 (80～110) (2580)	294～392 3～4 (80～110) (2580)		
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]		
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)		
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm N [kg]	10～15 [98 10]	10～15 [98 10]	10～15 [98 10]	10～15 [98 10]	[]	
	動力伝達装置	主クラッチペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	17.8 2.0～2.5 17.6～ 18.617.8	17.8 2.0～2.5 17.6～ 18.617.8	17.8 2.0～2.5 17.6～ 18.617.8	17.8 2.0～2.5 17.6～ 18.617.8	
			主クラッチ型	ブースタ油圧	KPa kg/cm ²	1765～2059 18～21	1765～2059 18～21	1765～2059 18～21	1765～2059 18～21
		ダイレクトシフト型		KPa kg/cm ²	—	—	—	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	981 10	981 10	981 10	981 10	
			KPa kg/cm ²	—	—	—	—		
(ミッション油温) (エンジン回転速度)		(℃) (min ⁻¹)							
プロペラシャフト		ボルト締付けトルク	N・m kgm	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35		
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 20.0～27.4	— 20.0～27.4	— 20.0～27.4	— 20.0～27.4		
	ステアリングクラッチ油圧 (油 温)		KPa kg/cm ² (℃)	1961～2255 20～23 (40～60)	1961～2255 20～23 (40～60)	1961～2255 20～23 (40～60)	1961～2255 20～23 (40～60)		

検 査 基 準 値								
—								
—								
—								
—								
—								
—								

モデル名

D20A-8E0

D20P-8E0

D20PL-8E0

D20PLL-8E0

D21A-8E0

①

■ 点 検

警 告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面と履帯のローラ転動面とのスキマが15～20mmあれば標準です。
25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。

M印

15～20mm

点検姿勢

②

■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。
標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

20～30mm

③

オイル封入履帯

シングル履帯

湿地シュー

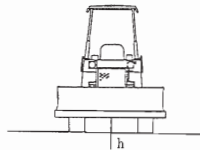
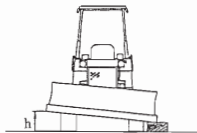
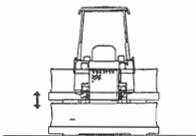
③

乾式履帯

シングル履帯

No.	項 目	判 定 基 準	
		基 本 寸 法	許 容 限 度
1	リンクピッチ	135.25	138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm(7±1kgm).増締め角:90±10°	
14	マスタボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm(7±1kgm).増締め角:180±10°	

No.	項 目	判 定 基 準	
		基 本 寸 法	許 容 限 度
1	リンクピッチ	135.25	—
15	シューボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8 Nm(7±1kgm).増締め角:90±10°	

D21P-8E0	D21PL-8E0								
項 目		測 定 条 件		単位	基 準 値 (新 車)		故障判定 基 準 値		
					D20 -7	D21 -7	D20 -7	D21 -7	
④	ブ レ ード	 ★ブレード地上から 300mm		mm	100		100		
	ブ レードチルト (チルト時本体降下量)	 ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっぱい上げる。 ・上記の姿勢からブレードの降下量 h を測定する。 ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する。			50		50		
⑤	ブ レ ード (PAT 車)	リフト		上 げ	1.8		1.8		
	・接 地 ◇ 上 昇 順			秒					